

統合分野 看護の統合と実践 授業計画

授業科目及び時間数	研究の実際 1単位 30時間												
開講時期	3年次 前期												
担当教員	増田恵美子	実務経験	有										
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>既習の学習内容を基盤に看護に対する理解を深め、今後の課題を明確にする学びである。また、看護研究は看護実践の発展にとって重要であり、看護師として身に付けるべき能力であるといえる。その研究方法を学ぶことで、問題発見、問題分析、問題探求・調査、倫理的思考などの能力を身に付けられると考える。そのことにより、ささやかな日常の看護活動の中での疑問について、問い続けることができるようになる。</p> <p>看護研究のプロセスを踏みながら実習を振り返ることで、自分の看護について考える機会となり、リフレクティブな学びとなることを期待している。</p>													
授業計画・内容・担当教員													
1回目	<ol style="list-style-type: none"> 研究の実際の授業計画 ケースレポート・事例検討の進め方 研究計画書の検討 <ol style="list-style-type: none"> 1) リサーチクエスションの再確認 2) 文献検索を行う 3) 計画書の見直し 4) 倫理的配慮を考える 	講義・演習											
2回目	<ol style="list-style-type: none"> 倫理的配慮 <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究趣旨の説明と同意を得る 2) 情報の取り扱い 実習での学びを基に研究課題を選定 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習での事例を基に、自己の学びから研究課題を選定し、明確化する 2) 文献検索を行う 3) 研究計画書を修正する 	講義・演習											
3回目	<ol style="list-style-type: none"> 研究レポートの書き方 <table border="0"> <tr> <td>1) ルール</td> <td>2) はじめにの構成条件</td> </tr> <tr> <td>3) キーワード</td> <td>4) 著者名</td> </tr> <tr> <td>5) 研究方法</td> <td>6) 倫理的配慮</td> </tr> <tr> <td>7) 結果</td> <td>8) 考察</td> </tr> <tr> <td>9) 結論</td> <td>10) 引用参考文献</td> </tr> </table> 原稿の規定 	1) ルール	2) はじめにの構成条件	3) キーワード	4) 著者名	5) 研究方法	6) 倫理的配慮	7) 結果	8) 考察	9) 結論	10) 引用参考文献	講義	
1) ルール	2) はじめにの構成条件												
3) キーワード	4) 著者名												
5) 研究方法	6) 倫理的配慮												
7) 結果	8) 考察												
9) 結論	10) 引用参考文献												
4回目	1. 論文の作成 (指導教員の助言を受け、論文を作成する)	演習											
5回目	1. 論文の作成												
6回目	1. 論文の作成												
7回目	1. 論文の作成												
8回目	1. 論文の作成												
9回目	1. 論文の作成												
10回目	1. 論文の作成												
11回目	1. 論文の作成												
12回目	1. 論文の作成												
13回目	1. 論文の作成												
14回目	1. 発表準備 (発表資料の準備・印刷、発表原稿の準備)	演習											
15回目	1. 口頭発表 (全体発表及びグループ発表)	演習											
評価方法	ルーブリック評価 (100%)												
受講生に対するメッセージ	意図的な看護実践の体験から、看護への探求心を養う機会となってほしい。												
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院												
参考書	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社												